

地域社会における有線テレビ (CATV)の機能

— 甲府市における有線テレビの受容調査を中心として —

美ノ谷 和 成

はじめに

わが国における有線テレビ(CATV)は、テレビ放送が開始された翌年の1954年(昭和29年)にはじめて設置されて以来、今日まで山間僻地や都市部の難視聴地域を中心に設置されてきた。有線テレビは当初テレビ放送の難視聴の解消を目的として再送信を行っていたが、1963年(昭和38年)に岐阜県郡上八幡町の「テレビ共同聴取施設組合」が再送信に加えて空チャンネルを利用した自主放送をはじめて行ったことを契機として、その後自主放送に対する期待が強まった。自主放送に対する期待は地域住民が日常生活をしていくうえで必要な「コミュニティ情報のメディア」に求められた。また、この自主放送はその後、日常生活の多様化にともなって「生活情報のメディア」としても期待され、さらに都市化の進展にともなう伝統的なコミュニティの崩壊やニュータウンの建設のなかで新たなコミュニティ形成の必要性が叫ばれ、「コミュニティ形成のメディア」としても期待されるようになった。自主放送はその時の社会状況の変化にともなって、それに対応するメディアのひとつとして期待されてきたが、自主放送を行う有線テレビ施設は徐々に増えてきたとはいえ、1977年(昭和52年)3月末現在で49施設(許可施設28, 届出施設21)で、施設全体に占める割合でみるかぎり微々たるものである。⁽¹⁾ 自主放送に対する期待と現状

は施設数では必ずしも一致していないが、自主放送に対する期待は今日でも消えたわけではない。ところが、有線テレビにおける自主放送は現状ではどのような機能を、どの程度はたしているのか明確に把握されているとはいえない。有線テレビは再送信や自主放送の機能のほかに、近い将来に双方型の各種サービスの機能をはたす「生活サービスのメディア」としても期待され、そのための技術開発や実験も継続されている。このような現状において、自主放送の日常生活において果している機能について把握することは、「コミュニティ情報のメディア」や「生活情報のメディア」、あるいは「コミュニティ形成のメディア」としての発展を考えていくうえではもちろんのこと、近い将来多目的機能をはたす「生活サービスのメディア」としての有線テレビが地域住民に定着していくことができるかどうかをみていくうえでも必要なことと思われる。このような観点にたつて、以前に静岡県下田市において有線テレビの自主放送について調査したが、⁽²⁾今回はそれと比較する意味もあって都市型の自主放送の視聴実態と機能を把握するため、山梨県甲府市において調査した。⁽³⁾その調査結果を中心にして、自主放送の視聴実態や機能について考察してみたい。

I 「日本ネットワークサービス(株)」(NNS)

の設立と自主放送

山梨県甲府市は昭和51年1月現在、人口約19万6千人、世帯数6万2千の地方の中都市である。甲府市は地理的には東京を中心とする関東広域圏に隣接し、東京から約134kmのところの位置している。この甲府市では、テレビはNHKの総合と教育、山梨放送(日本テレビ系列)とテレビ山梨(東京放送系列)の4局しか視聴できないが、東京で発射されたテレビ電波が山梨県境の山岳(大菩薩峠の南側にある長者丸)にあたって反射するため、この反射波が市内の中心街を带状に流れる一部の地区では東京のテレビを視聴することが可能であった。すなわち、反射波である回折電波は幅50mから200mで甲府市の東

から西へ流れ、高度も東方は地上から 50m、西へ行くにしたがって低くなり、市の中心部で 20m、さらに西方では 7m から 10m となり、市の中心街から西方の一部地区では地元のテレビだけでなく東京の民放テレビも視聴されていた。

このようなテレビ電波の立地条件に着目して、昭和44年 9 月頃に甲府市の有線音楽放送業者「山梨音楽放送」が有線テレビ会社の設立を計画し、フジテレビに再送信の同意を求めた。しかし、フジテレビは業者の性格が不明であることなどの理由で同意を拒否した。このため、「山梨音楽放送」は有線テレビ会社の設立計画を放棄せざるを得なかった。

このことを知った山梨放送は自ら有線テレビ業務を行なう方針を決め、⁽⁴⁾ 45年 1 月初旬、山梨放送の常務が当時の河本郵政大臣を訪ね、山梨地区のテレビ電波の実情やローカル局の現状について説明し、有線テレビ実施の届出を受理するよう陳情した。さらに、山梨放送はキー局であるフジテレビ、日本教育テレビ（現在の「テレビ朝日」）、東京12チャンネルなどに協力を求め、有線テレビ会社の設立の準備を進めていった。45年 1 月中旬に郵政大臣から有線テレビ会社設立の内諾が得られたので、1 月16日に関東電波管理局へ「有線放送の設備の設置および業務開始届」を提出した。郵政省はこの届出書を 2 月 3 日付で「(1)本設備が他の設備に妨害を与えたり、人件、物件に危害、損害を与える場合には、設備の使用停止や改修を命ずることがある。(2)設備および業務を変更、廃止しようとするときは、その旨届出ること。届出を怠ると処罰されることがある」⁽⁵⁾との条件を付けて正式に受理した。

このようにして、有線テレビの届出書が受理されたので、山梨放送は新会社の設立にとりかかった。会社設立は野口山梨放送社長との個人的な関係から五島昇（東急社長）、岡野喜一郎（駿河銀行頭取）、藤川一秋（トピー工業社長）、北野次登（北野建設社長）が協力し、1 月14日に再送信の同意を与えたフジテレビと地元選出の衆議院議員である中尾栄一（自民党）も参加することになった。新会社の当初の資本金 1 千万円は山梨放送、フジテレビ、中尾栄一が各 200

万円、五島、岡野、藤川、北野の各氏が各 100 万円を出資し、役員は代表取締役社長に中尾栄一、取締役兼資本出資した 4 氏のほか山梨放送の野口社長、フジテレビから上柿虎男（フジテレビ技術顧問）を迎え、さらに監査役には山梨放送の望月常務が就任することになった。新会社の設立総会は 45 年 2 月 6 日に開催され、同日、わが国で初めての営利法人の有線テレビ事業者として「日本ネットワークサービス株式会社」（略称 NNS）が発足した。

NNS は在京キー局への再送信同意依頼、東京電力や電々公社に対する電柱共架申込など再送信開始までに必要な諸手続を経て、昭和 45 年 10 月 1 日から地元および東京キー局のテレビの再送信業務を開始した。NNS は当初、局長以下 9 名のスタッフで業務をはじめ、開始当初の加入世帯は 600 であったが、46 年 3 月末には 1,686 世帯、同年 10 月 1 日 2,106 世帯、47 年 3 月には 3,000 世帯、同年 6 月 4,000 世帯、48 年 4 月 19 日 6,817 世帯、51 年 3 月末 1 万 5,456 世帯、52 年 3 月末 1 万 8,538 世帯と順調に増加し、53 年 12 月現在 2 万 3,100 世帯に達している。営業面では、当初は加入費 2 万 5 千円、月額使用料 500 円で営業をはじめ、初年度（45 年 4 月～46 年 3 月）では約 133 万円の欠損金を出したが、次年度（46 年 4 月～47 年 3 月）には 13 万 3 千円の黒字に転じた。同社の「5 ヶ年収支計画表」によると、初年度は 1,090 万円、次年度 231 万円の赤字、黒字軽換は 3 年度からを予想していたので、最初から計画より実績の方が上回っていた。その後、加入費と月額使用料を値上げしたこともあって順調に収益が向上し、第 8 期（51 年 4 月～52 年 3 月）には収入 2 億 5,740 万円、利益金 1,423 万円を出すまでに成長した。

NNS は当初、NHK の総合テレビと教育テレビ、山梨放送、テレビ山梨の地元民放テレビの区域内再送信のほかに、東京のフジテレビ、日本教育テレビ、東京 12 チャンネルの区域外再送信の業務を行う事業体として出発したが、46 年 3 月 22 日にはわが国で初めての CATV システムに空チャンネルを利用した自主放送の実験を行い、48 年 4 月 1 日から自主放送の本放送を開始した。この自

主放送は当初、山梨放送の全面協力で開始されたが、50年12月1日からNNSが山梨放送にチャンネルをリースすることになり、以後山梨放送が自主放送の番組制作を行い、9チャンネルを使って放送し、今日にいたっている⁽⁷⁾。

第Ⅰ図はNNSが自主放送の本放送を開始した当初の番組表であり、第Ⅱ図はこの調査を実施した当時の番組表である。これらの表をみると、自主放送の本放送を開始した当初はローカル・ニュース番組（「9チャンネル県内ニュース」）やコミュニティ・ニュース番組（「9チャンネル甲府市内ニュース」「9チャンネル甲府中心街ニュース」）、生活情報番組（官公庁情報、自治会情報など14種類に分けた各種情報を提供する「9チャンネル情報ワイド73」、結婚に必要な各種の知識、話題をそれぞれの専科で質問に答え相談に応じる「テレビ結婚相談室」）が中心であるが、調査を実施した時点ではニュース番組（「9chニュースサロン」「町の話」）、生活情報番組（「市内有名店お買徳ニュース」「9チャンネル情報」）、教養番組（「山梨文化学園だより」など）が中心となっている。とくに両表を比較してみると、自主放送の本放送開始当初はローカルやコミュニティのレベルにおけるニュース番組や各種の生活情報番組がその大部分を占めていたが、調査を実施した時点では教養番組の比率が大きくなっている。このことはNNSの自主放送は本放送開始当初はコミュニティ・メディアや生活情報メディアとしての性格がきわめて強かったが、調査を実施した時点ではコミュニティ・メディアや生活情報メディアとしての性格が依然残っているとはいえるものの、本放送開始時に比較して教養や娯楽のメディアとしての性格が強まっているといえよう。

Ⅱ 自主放送の視聴実態

(1) 自主放送の視聴者率と視聴率

この調査を行った昭和51年9月現在のYBS自主放送の番組は前述の第Ⅱ図のとおりである。YBS自主放送はこれらの番組を月曜日から土曜日まで1日

(昭和48年4月本放送開始時)

第 II 図 自主放送の番組表(2)

(昭和51年5月1日～)

	月	火	水	木	金	土	日
お 昼 の 9 ch ワ イ ド							
11:00	町の話(奥さまりポーター)						
11:10	9チャンネル情報						
11:20	ビクトロン演奏						
	山梨文化学園だより			9 ch 診療所 (健康相談) 上原小太郎	文化学園	9チャンネル オークション	
	絵画	書道	組紐		着付		
11:40	市内有名店お買得ニュース						
11:45	9 chニュースサロン						
11:50	9チャンネル お好み 1 番勝負 囲碁・将棋 対局	民謡教室	この人にきく ききて 窪田樫良翁	民謡教室	ハンディーで ハロー	土曜 コーラス	
12:10		クエッション④ ? クイズその他	童話をどうぞ 早川由美子 アナ	私のアングル 8ミリファン	何でも インタビュー		
12:30						サラブレット 情報 二村征司	議員 討論会 (第1・第3)
13:00	ハンディカメラ外録の場合もある						

自由特番編成
(野球中継ほか)

(78)

に1時間30分から2時間（日曜日には特別番組を放送）放送されているが、これらの自主放送番組に対する視聴実態を把握するため、被調査者が視聴した番組を比較的是っきり記憶している調査実施日の前日である9月7日（火）から13日（月）までの1週間にどの程度これらの番組を視聴したかを調べた。その結果、この1週間に一度でもこれらの番組を視聴した生活者は約1割（11.9%）で、一度も視聴しなかった生活者は約9割（88.1%）である。このように自主放送に対する視聴者率は低いので視聴者の分析は明確に行えないが、自主放送を一度でも視聴した生活者は性別、年齢別、学歴別、職業別、年収別、居住年数別などの属性別でみると、他の各層に比べて男性、高年齢層、小学卒、旧制高校・専門学校・短大卒、管理的職業従事者、技能工生産工程従事者、年収100万円未満と400万円～500万円未満、居住年数30年～40年未満の各層で若干多い傾向でみられ、反対に女性、若年齢層、旧制中学・新制高校卒、販売従事者、サービス職業従事者、年収600万円以上、居住年数5年～10年未満の各層で若干少ない傾向がみられる。

自主放送を視聴した生活者は全体の約1割で少ないが、これら自主放送の視聴者のなかでは一週間のうち、「1日～2日間みた」生活者（7.3%）がもっとも多く、ついで「3日～4日間みた」生活者（3.2%）が多いが、「毎日みた」生活者（1.4%）はほとんどいない。このように「毎日みた」定期視聴者はきわめて少ないが、この定期視聴者を属性別にみると、70代以上の高年齢者、無職の層で多い傾向がみられる。これらの結果から、自主放送の視聴者は少なく、またこの視聴者も高年齢層や無職層でわずかに定期視聴者はいるものの、視聴者のほとんどはたまにしか自主放送を視聴していないことが分かる（第2表参照）。

ところで、被調査者のマス・メディア接触を新聞とテレビについてみると、新聞は毎日ほとんどの生活者（99.5%）が読んでおり、テレビは全員が毎日視聴している。新聞の購読時間は「15分～30分未満」（35.2%）が一番多く、ついで「30分～1時間未満」（33.8%）で、この二者で3分の2を占めている。テ

地域社会における有線テレビ (CATV) の機能 (79)

第Ⅰ表 自主放送の視聴実態(51年9月7日～9月13日)

		合 計	(1) 毎日みた	(2) 5日～6 日間みた	(3) 3日～4 日間みた	(4) 1日～2 日間みた	(5) ぜんぜんみ なかった
新聞の 購読時間	(a)15 分 未 満	100.0(60)	—	—	1.7	3.3	95.0
	(b)15分～30 分 未 満	100.0(153)	2.0	—	3.3	3.9	90.8
	(c)30分～1 時 間 未 満	100.0(147)	1.4	—	2.7	10.1	85.8
	(d)1 時間～1 時間30分 未 満	100.0(52)	1.9	—	3.9	7.7	86.5
	(e)1 時 間 30 分 以 上	100.0(23)	—	—	8.7	17.4	73.9
	合 計	100.0(435)	1.4	—	3.2	7.1	88.3
テレビの 視聴時間	(a)1 時 間 未 満	100.0(48)	2.1	—	4.2	2.1	91.6
	(b)1 時間～2 時間未 満	100.0(91)	—	—	4.4	7.7	87.6
	(c)2 時間～3 時間未 満	100.0(111)	—	—	1.8	9.0	89.2
	(d)3 時間～4 時間未 満	100.0(103)	2.9	—	1.9	8.7	86.5
	(e)4 時間～5 時間未 満	100.0(40)	2.5	—	2.5	7.5	87.5
	(f)5 時 間 以 上	100.0(44)	2.3	—	6.8	4.5	86.4
	合 計	100.0(437)	1.4	—	3.2	7.3	88.1
勤 務	(a)し て い る	100.0(287)	1.4	—	3.1	6.6	88.9
	(b)し て い な い	100.0(150)	1.3	—	3.3	8.7	86.7
近 隣 交 際	(a)かなり多くの方とし ている	100.0(194)	2.6	—	6.7	9.3	81.4
	(b)近くの数軒程度しか していない	100.0(214)	0.5	—	0.5	6.0	93.0
	(c)ほとんどしていない	100.0(28)	—	—	—	3.6	96.4
	(d)無 回 答	100.0(1)	—	—	—	—	100.0
甲 出 府 来 市 事 内 に 対 対 す 対 す 対 お 関 こ 心 つ 度 た	(a)大 変 関 心 が ある	100.0(187)	1.6	—	4.3	10.1	84.0
	(b)ま あ ま あ 関 心 が ある	100.0(208)	1.0	—	2.4	4.3	92.3
	(c)少 し 関 心 が ある	100.0(36)	—	—	2.8	11.1	86.1
	(d)ぜんぜん関心がない	100.0(5)	20.0	—	—	—	80.0
	(e)無 回 答	100.0(1)	—	—	—	—	100.0
合 計		100.0(437)	1.4	—	3.2	7.3	88.1

テレビの視聴時間は「2時間～3時間未満」(25.3%)が一番多く、ついで「3時間～4時間未満」(23.6%),「1時間～2時間未満」(20.8%)で、これら三者で全体の3分2以上を占めている。このような新聞とテレビの接触状態からみるかぎり、被調査者のマス・メディア接触状態は他の調査結果と比べても変わらないか、よい状態にあり、甲府市における生活者はマス・メディアに比較的多く接触していることを示している。

このような新聞購読とテレビ視聴の状態を自主放送の視聴との相関関係でみると、自主放送の視聴者は少ないので明確に分析できないが、新聞の購読時間の長い生活者やテレビの視聴時間の長い生活者は自主放送をよく視聴する傾向がみられる。このことは自主放送の視聴と新聞やテレビなど他のマス・メディア接触とのあいだに相関関係のあることを示しており、新聞やテレビなどマス・メディアによく接触する生活者は自主放送にもよく接触する傾向のあることを示している(第Ⅰ表参照)。

また、勤務の有無、近隣交際の程度、市内(コミュニティ)でおこった出来事に対する関心度の違いによって自主放送の視聴に差がみられるかどうかをみると、勤務している生活者としていない生活者のあいだには差はみられないが、コミュニティでおこった出来事に対する関心度の高い生活者は低い生活者に比べて、また多くの方と近隣交隣している生活者はしていない生活者に比べて、それぞれ自主放送をよく視聴する傾向がみられる(第Ⅰ表参照)。

(2) 関心度の高いイベントに対する自主放送の視聴状態

自主放送をふだん視聴している生活者は少なく、また自主放送を視聴している生活者のなかでも定期的に視聴している生活者はほとんどなく、たまにしか視聴されていないことがわかったが、生活者の関心度の高い地域イベントを自主放送で放送したばあいの視聴実態はどうであろうか。この生活者の関心度の高い地域イベントに対する自主放送の視聴実態を調査するため、YBS自主放送の特別番組として中継放送された「高校野球大会山梨県大会」(昭和51年7

月14日～7月26日)の視聴実態を調査した。

その結果、全体の約7割(71.6%)の生活者がこの中継放送を視聴している。視聴した生活者のなかでは、地元甲府市内の高校の出場した試合だけでなく、市外の高校どおしの試合もみた生活者が半数(50.1%)いる。このことはこの中継放送を視聴した生活者の多くはかなり試合を中継放送でみていることを示している。YBS自主放送はふだんほとんど視聴されていないが、高校野球大会のような地域の生活者にとって関心度の高いイベントを自主放送で放送したばあい視聴率は高くなる。自主放送を地域住民に定着させるには、地域住民の関心度の高いイベントを数多く放送していくことも必要であろう(第3表参照)。

(3) 自主放送の視聴番組

自主放送を視聴している生活者は全体の約1割であったが、これらの視聴者がどのような番組を視聴したのかをみたのが、第4表である。視聴番組のなかでもっとも多く視聴されている番組は、「町の話題」(26.9%)で、ついで「市内有名店お買得ニュース」(21.2%)、「9チャンネル情報」「山梨文化学園だより」(各19.2%)、「9チャンネルニュースサロン」「民踊教室」(各17.3%)、「土曜コーラス」(11.5%)、「9チャンネル一番勝負」「議員討論会」「9チャンネル診療所」「この人にきく」(各9.6%)、「クエッション9」(7.7%)である。これに対して、「童話をどうぞ」(3.8%)、「ハンディでハロー」「9チャンネルオークション」(各1.9%)などはほとんど視聴されておらず、「電子オルガン演奏」「私のアングル8ミリファン」「サラブレッド情報」を視聴した生活者はひとりもない。

一番多く視聴されている「町の話題」は甲府市内の各地区から主婦を選び身近かでおこった出来事を放送してもらうニュース番組で、「9チャンネルニュースサロン」もニュース番組である。これらのニュース番組を視聴した生活者は約4割(38.4%)である。これに対して「市内有名店お買得ニュース」は市内の有名店に呼びかけてお買得品の情報提供を依頼している生活情報番組で、

「9チャンネル情報」も行政情報、職業情報、交通情報などあらゆる生活情報を提供する番組である。この2つの生活情報番組に、医療・保健情報の提供や健康相談をする「9チャンネル診療所」を加えた生活情報番組を視聴した生活者は5割（50.0%）である。「山梨文化学園だより」「民踊教室」「土曜コーラス」「9チャンネル一番勝負」「クエッション9」は教養的性格が強いため、これらの番組を教養番組に分類するならば、教養番組を視聴した生活者は6割（65.3%）である。YBS自主放送の番組は教養番組が多いので当然視聴した番組の合計では教養番組が多くなる。この点を考慮すれば、自主放送番組のなかで比較的良好に視聴されている番組はコミュニティ・ニュース番組と生活情報番組である。

視聴番組を視聴者の性別でみると、男性と女性では視聴傾向に差がみられる。男性は女性に比べて、「9チャンネル情報」「9チャンネルニュースサロン」「チャンネル一番勝負」「この人にきく」「議員討論会」「9チャンネル診療所」を多く視聴する傾向がみられ、女性は男性に比べて「町の話」「山梨文化学園だより」「市内有名店お買得ニュース」「民踊教室」「土曜コーラス」を多く視聴する傾向がみられる。このことから、男性は女性に比べて、ニュース番組、政治番組、医療・保健番組をよく視聴する傾向がみられ、女性は男性に比べて、身近な話題をとりあげたニュース番組、買物情報番組、女性向教養番組をよく視聴する傾向がみられる（第4表参照）。

(4) 関心・興味のある自主放送番組

調査対象期間の1週間のあいだに一度でも自主放送を視聴した約1割（52名）の生活者に対して、視聴した自主放送番組のなかで関心や興味をもった番組があるかどうか調べたところ、関心や興味をもった番組が「ある」生活者は5割（50.0%）、「ない」生活者は3割（30.8%）、「無回答」の生活者が2割（19.2%）である。関心や興味をもった番組がある生活者に対して、具体的な番組名をさらに調べたところ、関心や興味をもった主な番組は、「町の話」

第Ⅱ表 関心・興味ある自主放送番組

番組名	実数	百分率
(1) 町の話題	4	7.7
(2) この人にきく	4	7.7
(3) 9チャンネル診療所	4	7.7
(4) 山梨文化学園だより	3	5.8
(5) 9チャンネルオークション	2	3.8
(6) 9チャンネル情報	2	3.8
(7) その他	10	19.2
(8) 関心・興味ある番組なし	16	30.8
(9) 無回答	10	19.2
計	55	105.7

(注) 複数回答含む。52=100.0

「この人にきく」「9チャンネル診療所」(各7.7%)、「山梨文化学園だより」(5.8%)などである。これらの番組のなかで、「この人にきく」(山梨日日新聞社社友の窪田慥良翁をきき手に各界の名士や個性ある市民などが出演する番組)の比率はこの番組を視聴した比率(9.6%)にほぼ同じである。このことは「この人にきく」番組を視聴した生活者はわずかであるが、この番組を視聴した生活者のほとんどが関心や興味を示したことを示している(第Ⅱ表参照)。

(5) 自主放送を視聴しない理由

自主放送を視聴しない生活者は約9割いて多いが、これら自主放送を視聴しない生活者はどのような理由から自主放送を視聴しないのであろうか。自主放送を視聴しない理由を全体でみると、「みる暇がなかった」(31.2%)がもっとも多く、ついで自主放送に「関心がない」(22.6%)、「他のテレビ番組の方がよい」(22.0%)で、これら三つの理由が自主放送を視聴しない主な理由である。これに対して、自主放送のあることを「知らなかった」(7.8%)、「内容がつまらない」(5.5%)、「画像が悪いから」(4.4%)の理由で自主放送を視聴しない生活者は少ない。

自主放送を視聴しない生活者を属性別にみると、「暇がなかった」ので視聴しなかった生活者は職業別で、販売従事者、専門的技術的職業従事者、自営業者の各層で多く、反対に無職の層で少ない傾向がみられる。「他のテレビ番組の方がよい」ので視聴しなかった生活者は学歴別で小学卒、職業別で自営業者、サービス職業従事者の各層で多い傾向がみられる。自主放送に「関心がない」ので視聴しなかった生活者は年齢別で30代、学歴別で新・旧大学卒、旧制中学・新制高校卒、職業別で技能工・生産工程従事者、管理的職業従事者、主婦の各層で多い傾向がみられる。

自主放送を視聴しない生活者のなかで、「みる暇がなかった」ため視聴できなかった生活者が3割以上もいて一番多いが、これらの生活者はYBS自主放送の放送時間が午前11時から午後1時までの2時間であるためこの時間帯は仕事などで視聴したくても視聴できなかったものとみられる。これらの生活者に対しては放送時間を考える必要がある。「他のテレビ番組の方がよい」「内容がつまらない」「画像が悪いから」の理由は自主放送の現状に起因しているもので、これらの理由で自主放送をみななかった生活者は3割占めており、さらに自主放送に無関心の生活者が2割もいる。これらの生活者に対しては、今後ともよりよい番組づくりや自主放送に関心をもたせる努力をする必要がある。さらに、YBS自主放送を「知らない」生活者が1割近くいることは、自主放送を知らない地域住民がまだかなりいることを示しており、これらの生活者に対する広報活動の必要性を物語っている（第5表参照）。

III 自主放送の日常生活における機能

(1) 自主放送の日常生活における貢献度

自主放送の日常生活における貢献度を全体でみると、自主放送が日常生活において「大変役にたっている」(3.0%)、「まあまあ役にたっている」(13.7%)と肯定的な評価をしている生活者は約2割、「少ししか役にたっていない」(9.8

%), 「ぜんぜん役にたっていない」(66.6%) と否定的な評価をしている生活者が全体の約8割いる。これをみてもわかるように、多くの生活者は自主放送の日常生活における貢献度について否定的評価をしているが、なかでも自主放送が日常生活において「ぜんぜん役にたっていない」と全面的に否定的評価をしている生活者が大部分(全体の約7割)を占めている。

自主放送の日常生活における貢献度を属性別にみると、男性は女性に比べて否定的な評価をしている生活者が多く、反対に肯定的評価をしている生活者が少ない傾向がみられる。年齢別では、30代以下の若年層では40代以上の中・高年齢層に比べて否定的評価をしている生活者が多く、肯定的評価をしている生活者が少ない傾向がみられ、とくに20代の若年層では肯定的な評価をしている生活者は皆無である。学歴別でみると、学歴が高くなるにしたがって否定的評価をしている生活者が多くなる傾向がみられ、職業別では自営業者、専門的技術的職業従事者、管理的職業従事者、事務従事者、サービス職業従事者、無職の各層で否定的評価をする生活者が多い傾向がみられる(第6表参照)。

ところで、自主放送を視聴している生活者と視聴していない生活者の日常生活における貢献度のちがいをみたのが第Ⅲ表である。この表をみると、自主放送を1週間のうち「毎日みた」生活者と「3日～4日間みた」生活者は全員が肯定的評価をしており、「1日～2日間みた」というたまにしか視聴しない生

第Ⅲ表 自主放送の視聴日数別にみた貢献度 (＋は有意差のあることを示す)

視聴日数 \ 貢献度	合 計	(1) 大変役に たっている	(2) まあまあ 役にたっ ている	(3) 少ししか 役にたっ ていない	(4) ぜんぜん 役にたっ ていない	(5) 無回答
(a) 毎 日 み た	100.0(6)	16.7	83.3 ⁺	—	—	—
(b) 5 日～6 日間みた	—	—	—	—	—	—
(c) 3 日～4 日間みた	100.0(14)	35.7	64.3 ⁺	—	—	—
(d) 1 日～2 日間みた	100.0(32)	9.4	43.8 ⁺	28.1	15.6	3.1
(e) ぜんぜんみなかった	100.0(385)	1.0	8.3	8.8	74.4 ⁺	7.5
計	100.0(437)	3.0	13.7	9.8	66.6 ⁺	6.9

活者でも5割以上(53.2%)が肯定的評価をしている。これに対して、「ぜんぜんみなかった」生活者の8割以上(83.2%)が否定的な評価をしている。このように自主放送をよく視聴している生活者は肯定的評価をする割合が高く、視聴しない生活者は否定的評価をする割合が高いので、自主放送の視聴度と評価のあいだには相関関係がみられる。YBS自主放送はほとんど視聴されていないので、当然の結果として自主放送の日常生活における貢献度では否定的評価の割合が高くなっている。将来、自主放送の視聴者が多くなれば、日常生活における貢献度も高くなるものと予測できる(第Ⅲ表参照)。

(2) 自主放送の日常生活における貢献内容

自主放送の日常生活における貢献度で「ぜんぜん役にたっていない」と全面的に否定的評価をした生活者を除いた生活者に対して、どのような点で役にたっているかを調査した。

その結果、全体では「市内の出来事を知ることができる」(35.3%)がもっとも多く、ついで「日常生活に必要な情報を得ることができる」(30.2%)、「市内の行事・催物を知ることができる」(27.6%)で、これら三者が自主放送の日常生活における主な貢献内容である。これに対して、「趣味や教養が豊かになる」(12.1%)、「娯楽として楽しんでいる」「話題が豊かになって人とのつきあいがうまくいく」(各4.3%)の貢献内容をあげた生活者は少ない。これらの

第Ⅳ表 自主放送の日常生活における貢献内容

視 聴 者	貢 献 内 容	合 計	(1) 市内の出来事を知ることができる	(2) 市内の行事・催物を知ることができる
(a) 肯定的評価の視聴者		100.0(73)	43.8 ⁺	34.2 ⁺
(b) 部分的否定評価の視聴者		100.0(43)	20.9	14.0
計		100.0(116)	35.3	26.7
(a) 3日以上視聴者		100.0(20)	45.0	15.0
(b) 2日以下視聴者		100.0(32)	31.2	34.4
計		100.0(52)	32.7	26.9

貢献内容をみてわかるように、自主放送は日常生活においてコミュニティ情報や生活情報のメディアとして機能していることが多いことがわかる。

自主放送の日常生活における貢献内容を属性別にみると、性別では男女とも「市内の出来事を知ることができる」貢献内容が多く差は認められないが、その他では男性は女性に比べて「娯楽として楽しんでいる」ことが多く、反対に女性は「市内の行事・催物を知ることができる」「日常生活に必要な情報を得ることができる」「趣味や教養が豊かになる」ことが多い。このことは、自主放送は性別に関係なくコミュニティ情報のメディアとして機能していることが多いが、この他に男性においては娯楽メディアとしても機能していることが多く、女性においては生活情報のメディアや趣味や教養のメディアとして機能していることが多いことを示している（第6表参照）。

ところで、自主放送が日常生活において「大変役にたっている」または「まあまあ役にたっている」という肯定的評価をしている視聴者と「少ししか役にたっていない」という部分的に否定的評価をしている視聴者の貢献内容を比べてみると、肯定的評価をしている視聴者は部分的否定評価をしている視聴者に比べて、「日常生活に必要な情報を得ることができる」を除いた貢献内容で高い比率を示している。また、自主放送を1週間に1日か2日しか視聴していない視聴率の低い視聴者と3日以上視聴している視聴率の高い視聴者の貢献内容

（複数回答を含む。+は(a)と(b)の間に有意差のあることを示す）

(3) 日常生活に必要な 情報を得ることが できる	(4) 娯楽として楽しん でいる	(5) 趣味や教養が豊か になる	(6) 話題が豊かになっ て人とのつきあい がうまくいく	(7) そ の 他	(8) 無 回 答
27.4 34.9	13.7 9.3	15.1 9.3	6.8 —	1.4 7.0	2.7 14.0 ⁺
30.2	12.1	12.9	4.3	3.4	6.9
40.0 15.6	20.0 9.4	35.0 ⁺ 6.3	10.0 3.1	5.0 3.1	— —
25.0	13.5	17.3	5.8	3.8	—

を比べてみると、視聴率の高い視聴者は「市内の行事・催物を知ることができる」を除いた貢献内容で高い比率を示している。このことは、自主放送の日常生活における貢献度において肯定的評価をしている生活者や自主放送を比較的多く視聴している生活者においては自主放送は日常生活において複数の機能をはたしている割合が高い傾向のあることを示している（第Ⅳ表参照）。

（3）自主放送に関する会話

自主放送を視聴している生活者が視聴した番組について誰かに話したり、誰かと話しあったりすることは、自主放送がパーソナル・コミュニケーションと連結することを意味する。自主放送のパーソナル・コミュニケーションとの連結は地域社会におけるコミュニケーションの活発化につながる。とくに、コミュニティ内の争点を含んだ政治的問題を自主放送でとりあげたばあい、その問題がパーソナル・コミュニケーションに連結し地域住民のあいだのコンセンサス形成の契機になる。自主放送がパーソナル・コミュニケーションと連結しているかどうかは、自主放送がコミュニティ内のコンセンサス形成のメディアとして機能しているかどうかを判断するひとつの手がかりになる。

自主放送を視聴した生活者（52名）のなかで、視聴した番組について誰かに「話した」生活者は約4割（42.3%）、「話さなかった」生活者は約5割（51.9%）である。自主放送を視聴した生活者が少ないので明確に分析できないので一応の傾向を述べるにとどめるが、視聴した番組を「話した」生活者は年収300万円未満、居住年数40年以上の各層で、「話さなかった」生活者は50代以上、自営業者、年収300万円以上の各層で多い傾向がみられる。

「話した」相手は「家族」（50.0%）がもっとも多く、ついで「友人」（31.8%）、「近所の人」（13.6%）で、「知人」（9.1%）、「勤務先の人」（4.5%）は少ない。「話した」相手を男女別にみると、男女とも「家族」と「友人」が多いが、男性は女性に比べて「知人」、「勤務先の人」が多く、女性は「近所の人」が多い傾向がみられる（第7表参照）。「話した」内容をみると、「9チャンネル

ル診療所」の医療・保健の内容 (13.6%)、「町の話題」,「童話について」(各 9.1%) , などが主な内容である。

自主放送についての会話は家族内と家族外で同じ比率で行われているが, 自主放送がコンセンサス形成のメディアとしても機能するには, 家族内にとどまらず, 家族外でも活発に行われることが必要である。この調査結果から, 自主放送を視聴した生活者は少ないので現状では地域社会におけるコミュニケーションの活性化につながっていないが, 自主放送を視聴した半数近くの生活者がパーソナル・コミュニケーションと連結させており, その相手も約半数が家族以外の人であるので, 自主放送の視聴率が高くなれば地域社会におけるコミュニケーションの活性化にかなり寄与するようになるものと判断できる。

IV 若 干 の 考 察

これまで, YBS 自主放送の視聴実態と機能を中心にして調査結果にもとづいて考察してきたが, YBS 自主放送をふだん視聴している生活者は少なく, 視聴状態はよくない。したがって, YBS 自主放送は地域住民の日常生活においてほとんど機能していない。この自主放送の調査と同時に行った生活情報の受容調査において, 12項目の生活情報についてその収集メディアに占める自主放送の割合をみると, 第V表をみてもわかるように, 12項目の生活情報のなかで自主放送から収集する割合の高い生活情報は「食糧や衣料など日用品の買物案内」が2.3%でもっとも高く, 他の11項目の生活情報ではこの比率以下である。⁽⁷⁾ この調査結果からみても, 甲府市の生活者は生活情報をYBS 自主放送からほとんど収集しておらず, YBS 自主放送は地域住民の日常生活における生活情報収集においてほとんど機能していない (第V表参照)。

甲府市における有線テレビの導入の目的は地元の民放テレビを通して視聴できない東京の民放テレビを視聴できるようにする区域外再送信, つまりモア・チャンネルであり, 当初からテレビの難視聴の解消や自主放送を目的としたも

第V表 生活情報の収集メディア

生活情報	メディア	合計	会	(1) 話	(2) 自主放送	(3) 地方紙	(4) 全国紙	(5) テレビ	(6) その他	(7) 無回答
(a)	食糧や衣料など日用品の買物案内	100.0(307)		7.2	2.3	34.4	13.7	16.3	25.4	0.7
(b)	転職や就職、アルバイトやパートについての情報	100.0(160)		6.3	1.3	66.7	16.9	1.9	5.6	1.3
(c)	甲府市でおきた交通事故や災害についての情報	100.0(401)		4.2	0.7	35.2	13.7	41.5	4.5	0.2
(d)	自分や家族の生活設計のための情報	100.0(261)		18.8	1.1	19.6	14.6	26.5	17.9	1.5
(e)	自治会や町内会の動き	100.0(316)		34.6	0.9	6.3	2.5	2.8	52.3	0.6
(f)	甲府市議会や市役所の動き	100.0(308)		11.0	0.6	28.0	12.4	12.0	35.4	0.6
(g)	家族関係を円満にする方法	100.0(243)		30.4	0.8	7.0	6.6	25.5	26.8	2.9
(h)	自分に参加できそうな組織や団体についての情報	100.0(194)		37.4	2.1	28.4	8.8	6.7	16.1	0.5
(i)	家庭内で行なう娯楽についての情報	100.0(248)		16.9	1.6	23.0	8.1	35.1	14.5	0.8
(j)	家庭教育の仕方	100.0(292)		30.2	1.0	10.3	3.8	24.3	30.1	0.3
(k)	戸外で行なう娯楽、レクリエーションについての情報	100.0(289)		23.2	0.7	26.6	11.8	24.6	11.7	1.4
(l)	社会教育活動についての情報	100.0(242)		17.8	0.8	26.1	14.5	25.6	14.0	1.2
(a)~(l)の平均		100.0(273)		19.2	1.1	24.8	10.4	21.8	21.8	0.9

(注) 拙稿「生活情報の欲求度、蓄積度、収集媒体についての実証的研究」立正大学『人文科学研究年報』第16号、pp.36~37の表から作成。

のではない。NNSの加入世帯は53年12月で2万3千をこえてわが国でもっとも加入世帯が多いが、その多くはモア・チャンネルを目的として加入しており、自主放送の視聴を目的にして加入した世帯はほとんどいない。しかし、モア・チャンネルを目的として加入した世帯でも、加入後は自主放送を視聴することができるにもかかわらず自主放送を視聴する生活者が少なく、視聴実態がよくないのはどうしてであろうか。

今回の調査を下田市の調査結果と比べてみると、下田市に比べて甲府市では自主放送の視聴者率や視聴率が低く、自主放送を視聴しない生活者のなかでは自主放送に対する無関心者や他のテレビの方がよいから自主放送を視聴しないというNHK・民放テレビ依存者が多い。このように甲府市では自主放送に対する無関心者やNHK・民放テレビ依存者が下田市に比べて多く、このことが自主放送の視聴者率や視聴率が低い原因にもなっている。自主放送の視聴状態は、その地域の生活者の生活構造やコミュニティ意識、コミュニティ情報や生活情報の流通量や充足度、情報収集メディアにおける自主放送の依存度などと無関係ではない。これらのなかで、コミュニティ内の出来事に対する関心度、定住意志、近隣交際の程度について甲府市と下田市の生活者を比べてみると、甲府市でも定住意志の強い生活者が多いことでは下田市と変らないが、甲府市ではコミュニティ内の出来事に対する関心度の高い生活者や近隣交際を多くしている生活者は下田市に比べて少ない。コミュニティ意識の強い生活者、近隣交際を多くしている生活者、定住意志の強い生活者はそれぞれそうでない生活者に比べて自主放送をよく視聴する傾向があるので、甲府市においてコミュニティ意識の強い生活者や近隣交際を多くしている生活者が少ないことが、下田市に比べて甲府市の生活者が自主放送を視聴しない原因のひとつになっている。

他方、生活者の情報の充足度について情報欲求度にあった情報蓄積がなされている生活情報の項目でみると、下田市では9項目の生活情報のうち3項目であるのに対して、甲府市では12項目のうち8項目⁽⁸⁾である。これをみてもわかる

ように、甲府市の生活者の方が生活情報の充足度が高く、このことは甲府市は下田市に比べて生活情報の流通量も多いことを示している。さらに、甲府市における生活情報の収集メディアを第Ⅴ表でみると、新聞（とくに地方紙）、テレビ、会話を通して情報収集している生活者が多く、自主放送によって情報収集している生活者はほとんどいない。甲府市では下田市に比べて情報の充足度は高いが、コミュニティ情報や生活情報の多くは新聞、テレビ、会話を通して収集されており、自主放送の情報収集における依存度は低い。情報収集における自主放送の依存度の低さが自主放送を視聴しない原因にもなっている。

このように、下田市に比べて甲府市では自主放送を視聴しない生活者が多いのは、下田市に比べて甲府市の生活者ではコミュニティ意識の高い生活者や近隣交際を多くしている生活者が少ないこと、さらに情報収集における自主放送の依存度の低さに起因しているところが多い。ところが、甲府市の生活者は日常生活に必要な生活情報やコミュニティ情報を十分に受容しているかといえは必ずしもそうではない。前述の生活情報の受容調査においても、12項目の生活情報のうち4項目が情報欲求度にあった蓄積度をしていない。このような情報欲求度にあった蓄積度をしていない生活情報やコミュニティ情報がかなりあり、これらの情報を積極的に自主放送でとりあげていくことが、自主放送を地域住民のあいだに定着させることにつながるであろう。

わが国における情報構造はマス・メディアによるナショナルあるいはローカルなレベルの情報が中心で、地域住民の直接的な生活環境となっている市町村規模のコミュニティに関する情報が少ない。自主放送は不足しているコミュニティに関する情報を提供するメディアとして期待されてきたが、コミュニティ情報や生活情報の流通量が少ない地域でも期待されたほどには自主放送が増えていないし、機能していない。まして、甲府市のようなコミュニティ情報や生活情報の充足度がかなり高く、テレビや新聞など他のメディアを通してかなりの情報が受容されているような地域やコミュニティ意識の低い生活者の多い地

域などにおいては、自主放送が「コミュニティ情報のメディア」や「生活情報のメディア」、あるいは「コミュニティ形成のメディア」として機能することは容易なことではない。自主放送が地域社会において機能するには、その地域の特性や生活者の情報ニーズを把握し、それに対応した番組づくりに努力していくことが必要であろう。

注

- (1) 昭和52年3月末現在のわが国の有線テレビ施設数は1万1,426（有線テレビ放送法上、許可を必要とする500端子以上の許可施設195, 500端子以下の届出施設および小規模施設1万1,231）である。これを目的別にみると、許可施設では自主放送のみ行う施設が3, 再送信と自主放送を行う施設が25, 再送信のみを行う施設167, 届出施設および小規模施設では、再送信と自主放送を行う施設が21で、残りの1万1,231は再送信のみを行う施設である。したがって、有線テレビ施設全体のなかで自主放送を行う施設の割合は0.4%で、わずかである（郵政省編『通信白書』昭和53年版, pp.286~291）。
- (2) 拙稿「コミュニティ情報と生活情報のメディアとしての有線テレビ (CATV) ——下田市における有線テレビの受容調査を中心として——」立正大学『文学部論叢』No.59, pp.39~98参照。
- (3) この調査は、山梨県甲府市にある「日本ネットワークサービス(株)」の加入者1万5,456世帯（昭和51年3月現在）を母集団として、そのなかから単純無作為抽出法によって507名の世帯主(夫)あるいは妻を抽出し、個人面接を行った。その結果、437の有効票（有効票率86.2%）が得られた。
被調査者の属性については、別表の第1-1表, 第1-2表のとおりであるが、性別では男性と女性がほぼ半数ずつ、年齢では30代~50代が約75%, 学歴では旧制中学・新制高校卒以上が70%, 職業では自営業者と主婦が約30%ずつ占めて多い。出身地では甲府市出身者が50%, 市外の県内出身者が40%近く、居住年数では10年以上が約80%, 年収では100万円~300万円未満が約50%, 勤務の有無では勤務している生活者が65%である。このような属性の生活者が被調査者の中心を占めている。
また、地域住民としての特性をみると、コミュニティ意識では、甲府市内でおきた出来事に「大変関心がある」生活者が約40%, 居留意識では、甲府市に「死ぬまで住んでいたい」生活者が約90%, 近隣交際の程度では、「かなり多くの方としている」生活者が約40%を占めている。
- (4) わが国の民間放送事業は誕生以来順調に発展してきたが、1970年代を契機に、他のレジャーの進展などによってテレビのセツ・イン・ユースが低下し、テレビ受像機の普及も頭打ちの状態になった。さらに、UHF局の誕生で、既設のVHF民放局は苦況にたたされるという一般的状況に加えて、山梨県はとくにマーケットが小さいため、これ以上民放局が増えたら民放経営がなりたたないという危機感が強かった。このようなときに、CATVが出現することは放送事業の息の根をとめることにもなりかねないので、他人が行う前に民放が自ら行うことによって自己防衛

すべきであると考えから、山梨放送はCATV事業を行なう方針を決めた（「初のCATV 営利法人誕生」『放送ジャーナル』No.11（1970年夏季号）pp.67～72参照）。

- (5) 山梨放送のCATV事業の計画から届出書の受理にいたる経過について、『有線放送問題研究資料』No.4，日本新聞協会，昭和45年6月，pp.60～66に次のように述べられている。

「44年秋ごろ，甲府市内の有線音楽放送業者の『山梨音楽放送』がCATV会社設立を計画し，つてをたどってフジテレビに再送信の同意を求めたが，フジでは，業者の性格が不明であることなどから同意を拒否し，『音楽放送』は結局その計画を放棄した。

フジテレビ鹿内社長は，旧知の間柄である中尾代議士，山梨放送野口氏らにこのいきさつを伝え，『きちんとした業者がやるなら応援する用意がある』とのべた。そこで中尾氏らは県内外の有志（現在のCATV会社取締役ら）をつのり，河本郵政大臣（当時），郵政省，政界人などに働きかけた。（中尾氏は中曽根派に属しているが三木派とも良く，三木武夫氏を通じて同じく三木派の河本氏に働きかけたとみられる）。

河本郵政相は，任期末期の1月になって，有線テレビに関する新構想をたてて郵政省電波監理関係者に示達し，あわせて届出書の受理を命じたもようである。『新構想』とは，『大都市のCATVは関係者による公益法人により運営するが，地方都市に関しては，雑多な業者による“海賊放送”的な動きに先手を打つため，キチンとした業者であれば株式会社であってもよい』という趣旨のものであったと伝えられ，河本氏は大臣の席を去ったあとも新聞記者等に同様の発言を行なっている。また，甲府のCATVが東京のテレビを再送信することはいわゆる『区域外送信』にあたるが，望月氏の話によれば，河本氏は『東京と山梨は電波の数に格差があり，もっと多様な番組を見たいとの住民の要望が強ければ，CATVを認めざるを得ない』と同氏らに語った，とのことである。

郵政省事務当局は，この河本構想に対して，『放送秩序が乱れる』というローカル局保護の立ち場から難色を示したが，『ネットワークサービス』社の届出書は結局，2月3日付で受理された」

- (6) 山梨放送の行う自主放送は通称，YBS自主放送あるいはYBS9チャンネルと呼ばれている。
- (7) 拙稿「生活情報の欲求度，蓄積度，収集媒体についての実証的研究」立正大学『人文科学研究所年報』第16号，昭和53年，pp.14～37参照。
- (8) 拙稿「生活情報の欲求・収集・蓄積」立正大学『人文科学研究所年報』第14号，昭和52年，pp.44～69参照。

この論文でとりあげた有線テレビの調査は，立正大学「人文科学研究所」1977年度分担研究と社会調査実習のフィールドワークをかねて行ったものであるが，1978年度文部省科学研究費補助金〔一般研究(D)，課題番号361068〕を受け，さらに研究する機会が与えられたので，その研究成果の一部もこの論文に含まれている。

地域社会における有線テレビ (CATV) の機能 (95)

第1-1表 被調査者の属性(1)

属 性			実 数	百分率	属 性			実 数	百分率
性別	(a) 男	性	197	45.1	業	(g) 運輸通信従事者		8	1.8
	(b) 女	性	240	54.9		(h) サービス職業従事者		31	7.1
年齢	(a) 20	代	44	10.1		(i) 単純労働者		2	0.5
	(b) 30	代	107	24.5		(j) 無 職		14	3.2
	(c) 40	代	121	27.6		(k) 主 婦		119	27.2
	(d) 50	代	99	22.7		(l) そ の 他		21	4.8
	(e) 60	代	56	12.8		(m) 無 回 答		2	0.5
	(f) 70	代	10	2.3	居住年数	(a) 5 年 未 満		48	11.0
学歴	(a) 小 学 卒		16	3.7		(b) 5 年～10 年 未 満		35	8.0
	(b) 高等小学・新制中学		112	25.6		(c) 10 年～15 年 未 満		48	11.0
	(c) 旧制中学・新制高校		197	45.1		(d) 15 年～20 年 未 満		46	10.5
	(d) 旧制高校・専門学校・短大		70	16.0		(e) 20 年～30 年 未 満		92	21.0
	(e) 新・旧 大 学		39	8.9		(f) 30 年～40 年 未 満		65	14.9
	(f) 学 歴 な し		1	0.2		(g) 40 年 以 上		102	23.4
	(g) 無 回 答		2	0.5		(h) 無 回 答		1	0.2
職	(a) 自 営 業 者		128	29.2	勤務	(a) し て い る		287	65.7
	(b) 専門的技術的職業従事者		28	6.4		(b) し て い な い		150	34.3
	(c) 管理的職業従事者		27	6.2	出身地	(a) 甲 府 市 内		217	49.7
	(d) 事務従事者		23	5.3		(b) 甲府市外の県内		161	36.8
	(e) 販売従事者		17	3.9		(c) そ の 他		59	13.5
	(f) 技能工・生産工程従事者		17	3.9	合 計			437	100.0

第1-2表 被調査者の属性(2)

層 性			実 数	百分率	属 性			実 数	百分率
市内 で対 する 関心 度	(a) 大変関心がある		187	42.9	度	(c) 住みたくないので、なるべく早く出たい		5	1.1
	(b) まあまあ関心がある		208	47.6		(d) 無 回 答		2	0.5
	(c) 少し関心がある		36	8.2	近隣 交際	(a) かなり多くの方としている		194	44.4
	(d) ぜんぜん関心がない		5	1.1		(b) 近くの数軒程度しかしていない		214	49.0
	(e) 無 回 答		1	0.2		(c) ほとんどしていない		28	6.4
居住	(a) 死ぬまで住んでいたい		380	87.0		(f) 無 回 答		1	0.2
	(b) 当分は住んでいたい が、いずれは出たい		50	11.4	合 計			437	100.0

第1表 自主放送の視聴者率と視聴率

属性	視聴者率, 視聴率	合計	視聴者率		視聴率				
			(1)視聴者	(2)未視聴者	(1)毎日 み	(2)5日～6日 間みた	(3)3日～4日 間みた	(4)1日～2日 間みた	(5)ぜんぜん み
性別	性	100.0(197)	13.7	86.3	2.0	—	4.6	7.1	86.3
	性	100.0(240)	10.4	89.6	0.8	—	2.1	7.5	89.6
年	(a)20代	100.0(44)	2.3	97.7	—	—	—	2.3	97.7
	(b)30代	100.0(107)	11.2	88.8	—	—	2.8	8.4	88.8
	(c)40代	100.0(121)	11.6	88.4	1.7	—	5.0	5.0	88.3
	(d)50代	100.0(99)	14.1	85.9	2.0	—	2.0	10.1	85.9
	(e)60代	100.0(56)	16.1	83.9	—	—	5.4	10.7	83.9
	(f)70代以上	100.0(10)	20.0	80.0	20.0	—	—	—	80.0
学歴	(a)小卒	100.0(16)	18.8	81.2	6.3	—	—	12.5	81.2
	(b)高等小学・新制中学	100.0(112)	12.5	87.5	2.7	—	2.7	7.1	87.5
	(c)旧制中学・新制高校	100.0(197)	9.6	90.4	0.5	—	2.0	7.1	90.4
	(d)旧制高校・専門学校・短大	100.0(70)	17.1	82.9	1.4	—	7.1	8.6	82.9
	(e)新・旧大学	100.0(39)	10.3	89.7	—	—	5.1	5.1	89.8
	(f)学歴なし	100.0(1)	—	100.0	—	—	—	—	100.0
	(g)無回答	100.0(2)	—	100.0	—	—	—	—	100.0
職	(a)自営業者	100.0(128)	11.7	88.3	0.8	—	4.9	6.3	88.2
	(b)専門的・技術的職業従事者	100.0(28)	14.3	85.7	—	—	—	14.3	85.7
	(c)管理的職業従事者	100.0(27)	18.5	81.5	3.7	—	3.7	11.1	81.5
	(d)事務従事者	100.0(23)	13.0	87.0	—	—	—	13.0	87.0
	(e)販売従事者	100.0(17)	5.9	94.1	—	—	5.9	—	94.1
	(f)技能工・生産工程従事者	100.0(17)	17.6	82.4	5.9	—	5.9	5.9	82.3

業	(g)運輸通信従事者	100.0(8)	—	100.0	—	—	—	—	100.0
	(h)サービス職	100.0(31)	3.2	96.8	3.2	—	—	—	96.8
	(i)単務	100.0(2)	—	100.0	—	—	—	—	100.0
	(j)無職	100.0(14)	14.3	85.7	14.3	—	—	—	85.7
	(k)主婦	100.0(119)	14.3	85.7	—	—	3.4	10.9	85.7
	(l)その他	100.0(21)	4.8	95.2	—	—	3.2	—	96.8
	(m)無回答	100.0(2)	—	100.0	—	—	—	—	100.0
年 収	(a)100万円未満	100.0(40)	17.5	82.5	2.5	—	2.5	12.5	82.5
	(b)100万円～200万円未満	100.0(100)	11.0	89.0	2.0	—	3.0	6.0	89.0
	(c)200万円～300万円未満	100.0(100)	9.0	91.0	2.0	—	2.0	5.0	91.0
	(d)300万円～400万円未満	100.0(71)	14.1	85.9	1.5	—	2.8	9.9	85.8
	(e)400万円～500万円未満	100.0(24)	25.0	75.0	—	—	12.5	12.5	75.0
	(f)500万円～600万円未満	100.0(26)	11.5	88.5	—	—	3.8	7.7	88.5
	(g)600万円以上	100.0(36)	5.6	94.4	—	—	0.3	0.3	94.4
	(h)無回答	100.0(40)	10.0	90.0	—	—	2.5	7.5	90.0
居 住 年 数	(a)5年未満	100.0(48)	10.5	89.5	2.1	—	2.1	6.3	89.5
	(b)5年～10年	100.0(35)	2.9	97.1	—	—	—	2.9	97.1
	(c)10年～15年	100.0(48)	14.6	85.4	—	—	2.1	12.5	85.4
	(d)15年～20年	100.01 46)	13.0	87.0	—	—	8.7	4.3	87.0
	(e)20年～30年	100.0(92)	9.9	90.1	1.1	—	2.2	6.6	90.1
	(f)30年～40年	100.0(65)	20.0	80.0	1.5	—	6.2	12.3	80.0
	(g)40年以上	100.0(102)	10.8	89.2	2.9	—	2.0	5.9	89.2
	(h)無回答	100.0(1)	—	100.0	—	—	—	—	100.0
合 計		100.0(437)	11.9	88.1	1.4	—	3.2	7.3	88.1

第3表 山梨県高校野球大会の中継放送の視聴状態

属 性	野 球 中 継	視 聴 し た 試 合			
		合 計	(1)甲府市内の高校の でた試合	(2)甲府市内の 高校どうしの 試合	(3)両方の試 合みた (4)無回答
性 別	性 別				
(a)男	性	100.0(197)	74.6	25.4	1.4
(b)女	性	100.0(240)	69.2	30.8	0.6
年	代				
(a)20	代	100.0(44)	65.9	34.1	—
(b)30	代	100.0(107)	65.4	34.6	1.4
(c)40	代	100.0(121)	73.6	26.4	2.2
(d)50	代	100.0(99)	77.8	22.2	—
(e)60	代	100.0(56)	75.0	25.0	—
(f)70	代 以 上	100.0(10)	60.0	40.0	—
学 歴	学 卒				
(a)小	卒	100.0(16)	81.2	18.8	—
(b)高 等 小 学 ・ 新 制 中 学	学	100.0(112)	77.7	22.3	2.3
(c)旧 制 中 学 ・ 新 制 高 校	校	100.0(197)	73.6	26.4	0.7
(d)旧制高校・専門学校・短大	大	100.0(70)	61.4	38.6	—
(e)新 ・ 旧 大 学	学	100.0(3)	59.0	41.0	—
(f)無 回 答	答	100.0(3)	66.6	33.4	—
職	業 者				
(e)自 営	者	100.0(128)	73.4	26.6	1.1
(b)専門的・技術的職業従事者	者	100.0(28)	46.4	53.6	—
(c)管 理 的 職 業 従 事 者	者	100.0(27)	63.0	37.0	5.9
(d)事 務 従 事 者	者	100.0(23)	82.6	17.4	—
(e)販 売 従 事 者	者	100.0(17)	82.4	17.6	—
(f)技能工・生産工程従事者	者	100.0(17)	82.4	17.6	—

業	(g)サ (h)無 (i)主 (j)そ (k)無	ービス職業従事者 の 回	100.0(31) 100.0(14) 100.0(119) 100.0(31) 100.0(2)	80.7 64.3 73.1 61.3 100.0	19.3 35.7 26.9 38.7 —	100.0(25) 100.0(9) 100.0(87) 100.0(19) 100.0(2)	24.0 22.2 14.9 42.1 —	28.0 11.1 29.0 10.5 50.0	48.0 66.7 54.1 47.4 50.0	— — 1.1 — —
年	(a)100 (b)100 (c)200 (d)300 (e)400 (f)500 (g)600 (h)無	万 円 未 万 円 ~200 万 円 未 万 円 ~300 万 円 未 万 円 ~400 万 円 未 万 円 ~500 万 円 未 万 円 ~600 万 円 未 万 円 以 上 回	100.0(40) 100.0(100) 100.0(100) 100.0(71) 100.0(24) 100.0(26) 100.0(36) 100.0(40)	65.0 75.0 72.0 67.6 87.5 65.4 69.4 72.5	35.0 25.0 28.0 22.4 12.5 34.6 30.6 27.5	100.0(26) 100.0(75) 100.0(72) 100.0(48) 100.0(21) 100.0(17) 100.0(25) 100.0(29)	15.4 22.7 29.2 25.0 9.5 17.6 16.0 24.1	26.9 17.3 27.8 31.3 33.3 41.2 20.0 31.0	57.7 58.7 43.0 41.7 52.4 41.2 64.0 44.9	— 1.3 — 2.0 4.8 — — —
居 住 年 数	(a)5 (b)5 (c)10 (d)15 (e)20 (f)30 (g)40 (h)無	年 未 年 ~10 年 未 年 ~15 年 未 年 ~20 年 未 年 ~30 年 未 年 ~40 年 未 年 以 上 回	100.0(48) 100.0(35) 100.0(48) 100.0(46) 100.0(92) 100.0(65) 100.0(102) 100.0(1)	60.4 74.3 75.0 91.3 67.4 67.7 72.5 —	39.6 25.7 25.0 8.7 32.6 32.3 27.5 100.0	100.0(29) 100.0(26) 100.0(36) 100.0(42) 100.0(62) 100.0(44) 100.0(74) —	27.6 26.9 19.4 26.2 19.4 20.5 21.6 —	27.6 19.2 41.7 23.8 30.6 25.0 23.0 —	37.9 53.9 38.9 50.0 48.4 54.5 58.1 —	6.9 — — — — — — —
合 計			100.0(437)	71.6	28.4	100.0(313)	22.4	26.5	50.1	1.0

第4表 自主放送の

視聴番組 属 性		合 計	(1)町 の 話 題	(2)9 チャ ネル 情 報	(3)電 子オ ルガ ン演 奏	(4)山 梨文 化園 だ よ り	(5)市 内名 店有 お買 デニ ュス	(6)9 チャ ネル ニ ュ ス ロ ン	(7)9 チャ ネル 一 勝 負
性 別	(a)男 性	100.0(27)	22.2	25.9	—	7.4	11.1	25.9	18.5
	(b)女 性	100.0(25)	32.0	12.0	—	32.0	32.0	8.0	—
年 齢	(a)20 代	100.0(1)	—	—	—	—	—	—	—
	(b)30 代	100.0(12)	25.0	33.3	—	16.7	25.0	8.3	8.3
	(c)40 代	100.0(14)	35.7	7.1	—	21.4	28.6	35.7	14.3
	(d)50 代	100.0(14)	28.6	28.6	—	7.1	14.3	14.3	7.1
	(e)60 代	100.0(9)	11.1	—	—	44.4	22.2	11.1	11.1
	(f)70 代 以 上	100.0(2)	50.0	50.0	—	—	—	—	—
学 歴	(a)小 学 卒	100.0(3)	33.3	67.7	—	33.3	—	—	—
	(b)高 等 小 学・新 制 中 学 校	100.0(14)	21.4	14.3	—	14.3	7.1	35.7	14.3
	(c)旧 制 中 学・新 制 高 校	100.0(19)	21.1	21.1	—	15.8	26.3	5.3	5.3
	(d)旧 制 高 校・専 門 学 校・短 大 学	100.0(12)	41.7	16.7	—	25.0	33.3	16.7	8.3
	(e)新 ・ 旧 大 学	100.0(4)	25.0	—	—	25.0	25.0	25.0	25.0
職 業	(a)自 営 業 者	100.0(15)	20.0	20.0	—	6.7	13.3	26.7	6.7
	(b)専 門 的 技 術 的 職 業 従 事 者	100.0(4)	—	—	—	—	—	—	50.0
	(c)管 理 的 職 業 従 事 者	100.0(5)	20.0	50.0	—	—	—	20.0	20.0
	(d)事 務 従 事 者	100.0(3)	33.3	33.3	—	—	—	—	33.3
	(e)販 売 従 事 者	100.0(1)	100.0	100.0	—	—	—	—	—
	(f)技 能 工・生 産 工 程 従 事 者	100.0(3)	66.7	—	—	33.3	33.3	66.7	—
	(g)サ ー ビ ス 職 業 従 事 者	100.0(1)	—	—	—	100.0	—	100.0	—
	(h)無 職	100.0(2)	50.0	50.0	—	—	50.0	—	—
	(i)主 婦	100.0(17)	23.5	11.8	—	41.2	35.3	—	—
	(j)そ の 他	100.0(1)	100.0	—	—	—	100.0	100.0	—
年 収	(a)100 万 円 未 満	100.0(7)	28.6	14.3	—	14.3	14.3	—	—
	(b)100万 円～200万 円 未 満	100.0(11)	27.3	18.2	—	27.3	27.3	27.3	9.1
	(c)200万 円～300万 円 未 満	100.0(9)	33.3	11.1	—	11.1	11.1	11.1	33.3
	(d)300万 円～400万 円 未 満	100.0(10)	20.0	20.0	—	—	30.0	20.0	10.0
	(e)400万 円～500万 円 未 満	100.0(6)	50.0	33.3	—	33.3	16.7	16.7	—
	(f)500万 円～600万 円 未 満	100.0(3)	—	33.3	—	—	—	33.3	—
	(g)600 万 円 以 上	100.0(2)	—	—	—	50.0	50.0	—	—
	(h)無 回 答	100.0(4)	25.0	25.0	—	50.0	25.0	—	—
居 住 年 数	(a)5 年 未 満	100.0(5)	—	20.0	—	50.0	20.0	50.0	—
	(b)5 年～10 年 未 満	100.0(1)	—	—	—	—	—	—	—
	(c)10 年～15 年 未 満	100.0(7)	42.9	14.3	—	14.3	28.6	14.3	—
	(d)15 年～20 年 未 満	100.0(6)	66.7	16.7	—	33.3	50.0	16.7	—
	(e)20 年～30 年 未 満	100.0(9)	—	—	—	11.1	11.1	11.1	33.3
	(f)30 年～40 年 未 満	100.0(13)	46.2	38.5	—	15.4	23.1	7.7	7.7
	(g)40 年 以 上	100.0(11)	9.1	18.2	—	18.2	9.1	27.3	9.1
合 計		100.0(52)	26.9	19.2	—	19.2	21.2	17.3	9.6

地域社会における有線テレビ (CATV) の機能 (101)

視 聴 番 組

(複数回答)

(8)民踊 教室	(9)クエ ッション 9	(10)この 人にき く	(11)私の アング ル8ミ リファ ン	(12)ハ ンデ ィで ハロ ー	(13)土曜 コーラ ス	(14)議員 討論会	(15)童 話を どう ぞ	(16)サ ラブ レッ ド情 報	(17)9チ ャン ネル オー クシ ン	(18)9チ ャン ネル 診療 所	(19)その 他	(20)無回 答
7.4	7.4	14.8	—	3.7	7.4	11.1	7.4	—	—	14.8	7.4	7.4
28.0	8.0	4.0	—	—	16.0	8.0	—	—	4.0	4.0	4.0	4.0
—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—
8.3	8.3	—	—	—	25.0	8.3	—	—	—	8.3	—	—
21.4	14.3	28.6	—	—	7.1	7.1	7.1	—	—	14.3	—	7.1
7.1	7.1	7.1	—	7.1	14.3	14.3	7.1	—	—	7.1	7.1	7.1
11.1	—	—	—	—	—	11.1	—	—	—	—	22.2	11.1
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50.0	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7.1	14.3	7.1	—	7.1	—	7.1	14.3	—	—	7.1	7.1	7.1
15.8	10.5	10.5	—	—	10.5	15.8	—	—	5.3	10.5	—	10.5
41.7	—	16.7	—	—	25.0	8.3	—	—	—	16.7	16.7	—
—	—	50.0	—	—	75.0	25.0	—	—	—	—	—	—
6.7	13.3	6.7	—	6.7	6.7	6.7	6.7	—	6.7	13.3	13.3	6.7
—	—	—	—	—	25.0	—	—	—	—	25.0	—	—
20.0	—	20.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	20.0
—	—	—	—	—	—	66.7	—	—	—	—	—	—
—	—	100.0	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—
33.2	—	33.3	—	—	—	—	33.3	—	—	33.3	—	—
100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
50.0	—	—	—	—	50.0	—	—	—	—	—	—	—
29.4	11.8	5.9	—	—	11.8	11.8	—	—	—	5.9	5.9	5.9
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	14.3	—	—	14.3	—	14.3	14.3	—	—	—	14.3	—
36.4	9.1	27.3	—	—	9.1	9.1	9.1	—	—	9.1	18.2	—
11.1	11.1	22.2	—	—	22.2	22.2	—	—	—	11.1	—	11.1
—	—	10.0	—	—	10.0	10.0	—	—	—	20.0	—	10.0
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
66.7	—	—	—	—	—	—	—	—	33.3	33.3	—	—
50.0	50.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
25.0	—	—	—	—	25.0	—	—	—	—	—	—	25.0
—	—	—	—	—	—	—	20.0	—	—	20.0	—	—
—	—	—	—	—	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—
14.3	—	—	—	—	14.3	—	—	—	—	14.3	—	—
33.3	16.7	—	—	—	16.7	—	—	—	—	—	—	—
11.1	—	22.2	—	—	11.1	11.1	—	—	11.1	11.1	22.2	11.1
23.1	—	15.4	—	—	—	15.4	—	—	—	7.7	—	7.7
18.2	27.3	9.1	—	9.1	—	27.3	9.1	—	—	9.1	9.1	9.1
17.3	7.7	9.6	—	1.9	11.5	9.6	3.8	—	1.9	9.6	5.8	5.8

第5表 YBS 自主放送を視聴しない理由

属性		項目	合計	(1)暇 がな かつ た	(2)内 容が つま ない	(3)他 のテ レビ 番組 がよ い	(4)関 心が ない	(5)知 らな かつ た	(6)画 像が 悪い から	(7)そ の他	(8)無 回答
性別	(a)男	性	100.0(170)	30.4	7.1	20.6	21.2	6.5	5.9	5.9	2.4
	(b)女	性	100.0(215)	31.5	4.2	23.3	23.7	8.8	3.3	4.7	0.5
年齢	(a)20	代	100.0(43)	27.8	16.3	27.8	14.0	4.7	4.7	4.7	—
	(b)30	代	100.0(95)	30.5	3.2	20.0	30.5	8.4	1.1	4.2	2.1
	(c)40	代	100.0(107)	34.6	3.7	20.6	23.4	9.3	3.7	2.8	1.9
	(d)50	代	100.0(85)	28.2	7.1	25.9	17.6	5.9	5.9	8.2	1.2
	(e)60	代	100.0(47)	34.1	2.1	19.1	21.3	8.5	8.5	6.4	—
	(f)70	代 以 上	100.0(8)	25.0	—	12.5	25.0	12.5	12.5	12.5	—
学歴	(a)小 学	卒	100.0(13)	30.8	7.7	38.4	15.4	—	—	7.7	—
	(b)高 等 小 学・新 制 中 学		100.0(98)	32.7	6.1	26.5	17.4	7.1	3.1	6.1	1.0
	(c)旧 制 中 学・新 制 高 校		100.0(179)	29.1	6.7	19.0	26.1	8.4	6.2	3.9	0.6
	(d)旧 制 高 校・専 門 学 校・短 大		100.0(57)	33.7	—	26.3	17.5	7.0	—	7.0	3.5
	(e)新 ・ 旧 大 学		100.0(35)	25.7	5.7	14.3	28.6	11.4	5.7	5.7	2.9
	(f)無 回 答		100.0(3)	33.4	—	—	33.3	—	33.3	—	—
職業	(a)自 営 業 者		100.0(113)	36.3	5.3	25.6	16.8	6.2	4.4	2.7	2.7
	(b)専 門 的 技 術 的 職 業 従 事 者		100.0(24)	37.6	8.3	12.5	25.0	8.3	—	8.3	—
	(c)管 理 的 職 業 従 事 者		100.0(22)	27.4	9.1	9.1	31.8	4.5	4.5	13.6	—
	(d)事 務 従 事 者		100.0(20)	30.0	5.0	20.0	25.0	10.0	5.0	5.0	—
	(e)販 売 従 事 者		100.0(16)	43.8	6.3	18.8	12.4	12.4	—	6.3	—
	(f)技 能 工 ・ 生 産 工 程 従 事 者		100.0(14)	28.6	—	21.4	35.7	14.3	—	—	—
	(g)サ ー ビ ス 職 業 従 事 者		100.0(30)	23.4	3.3	30.0	23.4	10.0	3.3	3.3	3.3
	(h)無 職		100.0(12)	8.3	—	16.7	16.7	8.3	25.0	25.0	—
	(i)主 婦		100.0(102)	25.5	3.9	22.5	29.5	8.8	3.9	4.9	1.0
	(j)そ の 他		100.0(30)	43.3	10.0	20.0	13.3	3.4	6.6	3.4	—
	(k)無 回 答		100.0(2)	—	50.0	50.0	—	—	—	—	—
年収	(a)100 万 円 未 満		100.0(33)	15.2	9.1	24.2	27.2	12.1	6.1	6.1	—
	(b)100万 円～200万 円 未 満		100.0(89)	33.9	6.7	25.8	15.7	9.0	5.6	2.2	1.1
	(c)200万 円～300万 円 未 満		100.0(91)	28.5	6.6	25.3	20.9	7.7	4.4	4.4	2.2
	(d)300万 円～400万 円 未 満		100.0(61)	37.8	1.6	16.4	24.6	8.2	1.6	9.8	—
	(e)400万 円～500万 円 未 満		100.0(18)	38.8	5.6	22.2	27.8	—	—	—	5.6
	(f)500万 円～600万 円 未 満		100.0(23)	43.7	4.3	4.3	26.1	4.3	4.3	13.0	—
	(g)600 万 円 以 上		100.0(34)	32.3	5.9	11.8	26.5	11.8	5.9	2.9	2.9
	(h)無 回 答		100.0(36)	22.2	2.8	33.2	27.8	2.8	5.6	5.6	—
居住年数	(a)5 年 未 満		100.0(43)	16.3	9.3	27.9	20.9	11.6	4.7	7.0	2.3
	(b)5 年～10 年 未 満		100.0(34)	35.3	—	11.8	35.4	8.8	2.9	2.9	2.9
	(c)10 年～15 年 未 満		100.0(41)	29.3	7.3	22.0	19.5	7.3	2.4	9.8	2.4
	(d)15 年～20 年 未 満		100.0(40)	30.0	5.0	17.5	27.5	7.5	7.5	2.5	2.5
	(e)20 年～30 年 未 満		100.0(83)	37.4	4.8	19.3	22.9	6.0	6.0	2.4	1.2
	(f)30 年～40 年 未 満		100.0(52)	25.0	7.7	26.9	23.1	5.8	3.8	7.7	—
	(g)40 年 以 上		100.0(91)	36.2	4.4	25.3	16.5	8.8	3.3	5.5	—
	(h)無 回 答		100.0(1)	—	—	—	100.0	—	—	—	—
合 計			100.0(385)	31.2	5.5	22.0	22.6	7.8	4.4	5.2	1.3

第5表 自主放送の日常生活における貢献度

属性 \ 貢献度		合計	(1)大へ ん役に たっ ている	(2)まあ まあ役 にたっ ている	(3)少し しか役 にたっ ていな い	(4)ぜん ぜん役 にたっ ていな い	(5)無回 答
性別	(a)男 性	100.0(197)	3.6	12.7	12.7	65.4	5.6
	(b)女 性	100.0(240)	2.5	14.6	7.5	67.5	7.9
年齢	(a)20 代	100.0(44)	—	—	13.6	77.3	9.1
	(b)30 代	100.0(107)	2.8	11.2	13.7	68.2	4.7
	(c)40 代	100.0(121)	3.3	17.4	5.0	63.6	10.7
	(d)50 代	100.0(99)	4.0	15.2	11.1	63.6	6.1
	(e)60 代	100.0(56)	1.8	17.9	8.9	67.8	3.6
	(f)70 代 以上	100.0(10)	10.0	20.0	10.0	60.0	—
学歴	(a)小 学 卒	100.0(16)	—	12.5	—	87.5	—
	(b)高等小 学・新制中 学	100.0(112)	3.6	17.9	7.1	62.5	8.9
	(c)旧制中 学・新制高 校	100.0(197)	2.0	12.2	10.2	67.5	8.1
	(d)旧制高 校・専門学 校・短大	100.0(70)	4.3	15.7	10.0	68.6	1.4
	(e)新・旧 大 学	100.0(39)	2.6	7.7	17.9	64.1	7.7
	(f)無 回 答	100.0(3)	33.3	—	33.3	33.4	—
職業	(a)自 営 業 者	100.0(128)	2.3	11.7	9.4	70.4	6.3
	(b)専門的技術的職業従事者	100.0(28)	—	7.1	25.0	53.6	14.3
	(c)管理的職業従事者	100.0(27)	7.4	11.1	14.8	66.7	—
	(d)事務従事者	100.0(23)	4.3	8.7	4.3	78.4	4.3
	(e)販売従事者	100.0(17)	—	17.6	11.8	53.0	17.6
	(f)技能工生産工程従事者	100.0(17)	5.9	23.5	11.8	52.9	5.9
	(g)サービス職業従事者	100.0(31)	—	9.7	9.7	77.4	3.2
	(h)無 職	100.0(14)	7.1	14.3	—	78.6	—
	(i)主 婦	100.0(119)	2.5	18.5	7.6	64.7	6.7
	(j)そ の 他	100.0(31)	6.5	12.9	6.5	61.2	12.9
	(k)無 回 答	100.0(2)	—	—	50.0	50.0	—
年収	(a)100 万 円 未 満	100.0(40)	2.5	30.0	2.5	55.0	10.0
	(b)100万 円～200万 円 未 満	100.0(100)	3.0	11.0	7.0	74.0	5.0
	(c)200万 円～300万 円 未 満	100.0(100)	3.0	15.0	10.0	63.0	9.0
	(d)300万 円～400万 円 未 満	100.0(71)	4.2	12.7	15.5	63.3	4.2
	(e)400万 円～500万 円 未 満	100.0(24)	8.3	25.0	8.3	50.1	8.3
	(f)500万 円～600万 円 未 満	100.0(26)	3.9	11.5	19.2	61.4	3.9
	(g)600 万 円 以 上	100.0(36)	—	2.8	—	88.9	8.3
	(h)無 回 答	100.0(40)	—	7.5	17.5	67.5	7.5
居住年数	(a)5 年 未 満	100.0(48)	2.1	12.5	10.4	68.7	6.3
	(b)5 年～10 年 未 満	100.0(35)	—	11.4	8.6	77.1	2.9
	(c)10 年～15 年 未 満	100.0(48)	2.1	20.8	10.4	56.3	10.4
	(d)15 年～20 年 未 満	100.0(46)	4.3	17.4	6.5	67.5	4.3
	(e)20 年～30 年 未 満	100.0(92)	2.2	7.6	10.9	70.6	8.7
	(f)30 年～40 年 未 満	100.0(65)	6.2	12.3	10.8	64.5	6.2
	(g)40 年 以 上	100.0(102)	2.9	16.7	7.8	65.7	6.9
	(h)無 回 答	100.0(1)	—	—	100.0	—	—
合 計		100.0(437)	3.0	13.7	9.8	66.6	6.9

第6表 自主放送の日常

属 性		貢献内容	合 計	(1)市内の出来事を知ることができる	(2)市内の行事・催物を知ることができる
性別	(a)男	性	100.0(57)	36.8	21.1
	(b)女	性	100.0(59)	33.9	32.2
年齢	(a)20	代	100.0(6)	—	16.7
	(b)30	代	100.0(29)	27.6	20.7
	(c)40	代	100.0(31)	38.7	35.5
	(d)50	代	100.0(30)	36.7	30.0
	(e)60	代	100.0(16)	50.0	25.0
	(f)70	代 以 上	100.0(4)	50.0	—
学歴	(a)小 学	卒	100.0(2)	100.0	—
	(b)高等小 学・新制中 学	卒	100.0(32)	34.4	21.9
	(c)旧制中 学・新制高 校	卒	100.0(48)	29.2	33.3
	(d)旧制高 校・専門学 校・短大	卒	100.0(21)	47.6	28.6
	(e)新 ・ 旧 大 学	卒	100.0(11)	18.2	18.2
	(f)無 回 答		100.0(2)	100.0	—
職業	(a)自 営 業 者		100.0(30)	40.0	26.7
	(b)専門的技術的職業従事者		100.0(9)	11.1	22.2
	(c)管理的職業従事者		100.0(9)	33.3	11.1
	(d)事務従事者		100.0(4)	25.0	25.0
	(e)販売従事者		100.0(5)	40.0	20.0
	(f)技能工生産工程従事者		100.0(7)	57.1	14.3
	(g)サービス職業従事者		100.0(6)	33.3	33.3
	(h)無		100.0(3)	100.0	33.3
	(i)主 婦		100.0(34)	29.4	32.4
	(j)そ の 他		100.0(8)	37.5	37.5
	(k)無 回 答		100.0(1)	—	—
年収	(a)100 万 円 未 満		100.0(14)	57.1	35.7
	(b)100万円～200万円 未 満		100.0(21)	52.4	28.6
	(c)200万円～300万円 未 満		100.0(28)	32.1	17.9
	(d)300万円～400万円 未 満		100.0(23)	30.4	21.7
	(e)400万円～500万円 未 満		100.0(10)	20.0	40.0
	(f)500万円～600万円 未 満		100.0(9)	22.2	44.4
	(g)600 万 円 以 上		100.0(1)	—	—
	(h)無 回 答		100.0(10)	20.0	20.0
居住年数	(a)5 年 未 満		100.0(11)	16.7	25.0
	(b)5 年～10 年 未 満		100.0(7)	42.9	14.3
	(c)10 年～15 年 未 満		100.0(16)	12.5	25.0
	(d)15 年～20 年 未 満		100.0(15)	46.2	15.4
	(e)20 年～30 年 未 満		100.0(19)	47.4	15.8
	(f)30 年～40 年 未 満		100.0(19)	42.1	26.3
	(g)40 年 以 上		100.0(28)	37.9	48.3
	(h)無 回 答		100.0(1)	—	—
合 計			100.0(116)	35.3	27.6

地域社会における有線テレビ (CATV) の機能 (105)

生活における貢献内容

(複数回答)

(3)日常生活に必要な情報を得ることができる	(4)娯楽として楽しんでいる	(5)趣味や教養が豊かになる	(6)話題が豊かになって人とのつきあいがうまくいく	(7)その他	(8)無回答
24.6	17.5	8.8	5.3	3.5	7.0
35.6	6.8	16.9	3.4	3.4	6.8
50.0	16.7	—	—	16.7	—
31.0	10.3	13.8	—	3.4	6.9
38.7	16.1	9.7	6.5	—	6.5
16.7	10.0	20.0	3.3	6.7	6.7
31.3	12.5	12.5	12.5	—	6.3
25.0	—	—	—	—	25.0
—	—	—	—	—	—
31.3	18.8	6.3	9.4	6.3	9.4
31.3	12.5	16.7	—	2.1	2.1
33.3	4.8	19.0	4.8	4.8	4.8
27.3	9.1	9.1	9.1	—	27.3
—	—	—	—	—	—
26.7	10.0	6.7	10.0	3.3	10.0
33.3	22.2	—	—	—	11.1
22.2	11.1	11.1	—	—	11.1
25.0	—	—	—	25.0	—
20.0	20.0	20.0	—	—	20.0
14.3	28.6	—	—	—	—
16.7	16.7	16.7	—	16.7	—
33.3	33.3	33.3	33.3	—	—
35.3	2.9	17.6	2.9	2.9	2.9
50.0	25.0	37.5	—	—	12.5
100.0	—	—	—	—	—
14.3	—	7.1	7.1	7.1	—
28.6	9.5	9.5	4.8	4.8	—
32.1	25.0	14.3	7.1	7.1	—
34.8	17.4	21.7	—	8.7	—
50.0	—	—	10.0	—	—
22.2	22.2	44.4	—	—	—
100.0	—	100.0	—	—	—
30.0	—	—	—	—	30.0
33.3	8.3	16.7	—	8.3	8.3
28.6	14.3	—	—	—	—
37.5	12.5	18.8	—	—	6.3
30.8	7.7	15.4	—	—	7.7
26.3	5.3	5.3	—	5.3	5.3
31.6	26.3	21.1	5.3	5.3	—
27.6	10.3	10.3	13.8	—	3.4
—	—	—	—	—	100.0
30.2	12.1	12.9	4.3	4.3	6.0

第7表 自主放送に関する

属 性 項 目			自主放送に関する会話			
			合 計	(1)話 した	(2)話さない	(3)無 回 答
性 別	(a)男 性	性	100.0(27)	44.4	44.4	11.2
	(b)女 性	性	100.0(25)	40.0	60.0	—
年 齢	(a)20 代	代	100.0(1)	—	100.0	—
	(b)30 代	代	100.0(12)	41.7	58.3	—
	(c)40 代	代	100.0(14)	50.0	35.7	14.3
	(d)50 代	代	100.0(14)	35.7	64.3	—
	(e)60 代	代	100.0(9)	33.3	55.6	11.1
	(f)70 代 以 上	上	100.0(2)	100.0	—	—
学 歴	(a)小 学 卒	卒	100.0(3)	33.3	66.7	—
	(b)高 等 小 学・新 制 中 学	中 学	100.0(14)	42.9	57.1	—
	(c)旧 制 中 学・新 制 高 校	高 校	100.0(19)	42.1	47.4	10.5
	(d)旧 制 高 校・専 門 学 校・短 大	大 学	100.0(12)	41.7	50.0	8.3
	(e)新 ・ 旧 大 学	大 学	100.0(4)	50.0	50.0	—
職 業	(a)自 営 業 者	者	100.0(15)	26.7	73.3	—
	(b)専 門 的 技 術 的 職 業 従 事 者	者	100.0(4)	75.0	25.0	—
	(c)管 理 的 職 業 従 事 者	者	100.0(5)	20.0	40.0	40.0
	(d)事 務 従 事 者	者	100.0(3)	33.4	33.3	33.3
	(e)販 売 従 事 者	者	100.0(1)	100.0	—	—
	(f)技 能 工 生 産 工 程 従 事 者	者	100.0(3)	66.7	33.3	—
	(g)サ ー ビ ス 職 業 従 事 者	者	100.0(1)	100.0	—	—
	(h)無 職		100.0(2)	50.0	50.0	—
	(i)主 婦	婦	100.0(17)	41.2	58.8	—
	(j)そ の 他	他	100.0(1)	100.0	—	—
年 収	(a)100 万 円 未 満	満	100.0(11)	63.6	36.4	—
	(b)100万 円～200万 円 未 満	満	100.0(9)	61.6	27.3	11.1
	(c)200万 円～300万 円 未 満	満	100.0(10)	50.0	30.0	20.0
	(d)300万 円～400万 円 未 満	満	100.0(7)	14.3	85.7	—
	(e)400万 円～500万 円 未 満	満	100.0(6)	33.3	66.7	—
	(f)500万 円～600万 円 未 満	満	100.0(3)	—	100.0	—
	(g)600 万 円 以 上	上	100.0(2)	50.0	50.0	—
	(h)無 回 答		100.0(4)	25.0	75.0	—
居 住 年 数	(a)5 年 未 満	満	100.0(5)	40.0	60.0	—
	(b)5 年～10 年 未 満	満	100.0(1)	100.0	—	—
	(c)10 年～15 年 未 満	満	100.0(7)	42.9	57.1	—
	(d)15 年～20 年 未 満	満	100.0(6)	50.0	50.0	—
	(e)20 年～30 年 未 満	満	100.0(9)	22.2	44.5	33.3
	(f)30 年～40 年 未 満	満	100.0(13)	30.8	69.2	—
	(g)40 年 以 上	上	100.0(11)	63.6	36.4	—
合 計			100.0(52)	42.3	51.9	5.8

地域社会における有線テレビ (CATV) の機能 (107)

会話と会話の相手

(複数回答)

会 話 の 相 手					
合 計	(1)家 族	(2)近 所 の 人	(3)友 人	(4)知 人	(5)勤務先の人
100.0(12)	50.0	8.3	33.3	16.7	8.3
100.0(10)	50.0	20.0	30.0	—	—
—	—	—	—	—	—
100.0(5)	60.0	—	60.0	—	—
100.0(7)	57.1	28.6	—	14.3	—
100.0(5)	40.0	—	40.0	—	20.0
100.0(3)	33.3	33.3	33.3	33.3	—
100.0(2)	50.0	—	50.0	—	—
100.0(1)	100.0	—	—	—	—
100.0(6)	16.7	16.7	50.0	33.3	—
100.0(8)	62.5	12.5	12.5	—	12.5
100.0(5)	80.0	—	40.0	—	—
100.0(2)	—	50.0	50.0	—	—
100.0(4)	25.0	—	75.0	50.0	—
100.0(3)	33.3	—	66.7	—	—
100.0(1)	100.0	—	—	—	—
100.0(1)	—	—	—	—	—
100.0(1)	100.0	—	—	—	100.0
100.0(2)	50.0	50.0	—	—	—
100.0(1)	100.0	—	—	—	—
100.0(1)	100.0	—	—	—	—
100.0(7)	57.1	14.3	28.6	—	—
100.0(1)	—	100.0	—	—	—
100.0(6)	50.0	33.3	33.3	16.7	—
100.0(5)	40.0	—	40.0	20.0	—
100.0(5)	40.0	20.0	20.0	—	20.0
100.0(1)	100.0	—	—	—	—
100.0(2)	100.0	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—
100.0(1)	—	—	100.0	—	—
100.0(2)	50.0	—	50.0	—	—
100.0(3)	33.3	66.7	—	—	—
100.0(1)	100.0	—	—	—	—
100.0(3)	66.7	—	33.3	—	—
100.0(4)	25.0	25.0	50.0	—	—
100.0(2)	50.0	—	50.0	—	—
100.0(4)	75.0	—	25.0	—	—
100.0(6)	33.3	16.7	33.3	33.3	16.7
100.0(22)	50.0	13.6	31.8	9.1	4.5